



ドローン・ジャパン、『Indoor Quick』2.0 を販売開始

GMO AI&ロボティクス商事とも連携

～「屋内」「屋内外双方」の AI 自動航行ドローン（ローバー・ポート含）による

ソリューション開発支援サービス～

ドローン・ジャパン株式会社（所在地：東京都千代田区 代表取締役：勝俣喜一郎）は、GMO インターネットグループの AI・ロボット事業を担う商社である GMO AI&ロボティクス商事株式会社（所在地：東京都渋谷区 代表取締役：内田 朋宏 以下「GMO AIR」）と、AI 機能を強化した「Indoor Quick」2.0（「屋内」「屋内外双方」の自動航行ドローン（ローバー・ポート含）によるソリューション）の開発支援、各種用途別ソリューションを顧客ごとに提案し、カスタム提供するサービスの販売連携を開始します。

（詳細：https://www.drone-j.com/indoor_ap/）

① 「Indoor Quick」2.0 概要

AI 画像解析用フライトコントローラー（Modal AI 社製 VOXL2）を搭載したドローンにより、GPS が入らない屋内での自動航行を実現します。

- 1) 使用環境や業種・業務に応じた室内自動飛行可能なドローンのカスタマイズ
 - 2) そのドローンの自動飛行を使いやすくする「インドアオートミッションアプリ」
- をセットにした屋内自動航行カスタマイゼーションサービスです。

② イメージ

動画 <https://www.youtube.com/watch?v=mMszp4FmDhU>

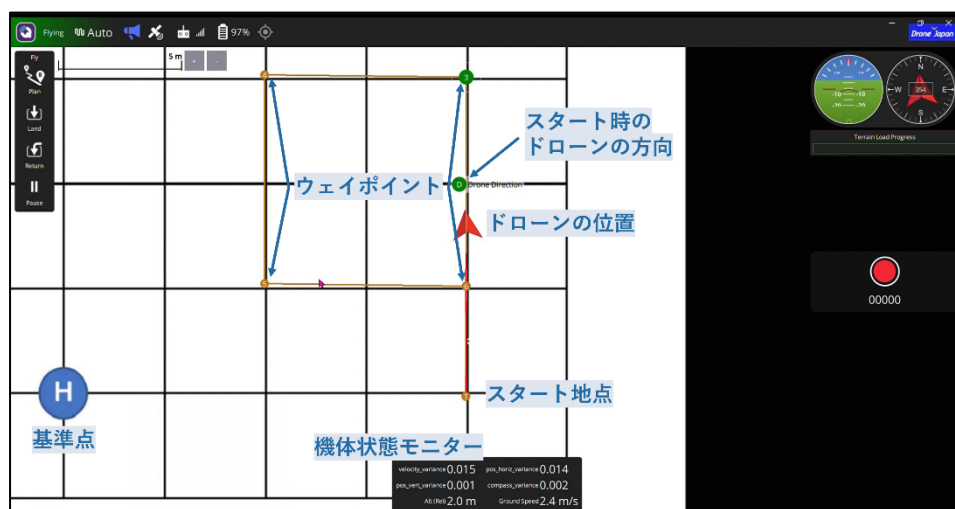
1) ・開発者用ドローンモデル機 (Development Kit) :



2) ・カスタム化用ベース機：上記②-1. の VOXL を搭載した自動室内航行用標準機ドローン



3) ・インドアオートミッションアプリ



③ 特徴（屋内自動航行ドローンメーカー他社との違い）

- 1) 低廉な価格
- 2) 事前の地図指定による自動走行
- 3) カスタマイズ可能（ハードウェア・ソフトウェア・ソリューション）
 - ☐ 必要 DATA 取得のためのセンサー搭載可能
 - ☐ 高度な機能を追加するためのセンサー・CC（コンパニオンコンピュータ）搭載可能
 - ☐ カスタムアプリケーションソフトウェア開発（DATA 取得/解析・機能追加・GCS）
- 4) 国産メーカーによるサポート・製品供給

④ ソリューション展開例

- 土木・建設： 屋内工事進捗確認・レポート
- 工場： 点検・工場内照度調査
- 倉庫： 定時入出在庫管理

⑤ 検討から運用までのプロセス

- 1・用途・目的のヒアリング（オンラインによる打ち合わせ）
- 2・事前現地調査&トライアル航行
- 3・ソリューション提案
- 3・業務内容の確定とご契約
- 4・カスタマイゼーションおよび POC
- 5・運用開始

⑥ 提供時期

2025 年 7 月よりサービス提供開始

【GMO AIR について】

GMO AIR は、AI・ロボット事業を担う商社として 2024 年 6 月 18 日に設立されました。

AI 技術とロボットの導入、活用支援を中心に、さまざまな業界において効率化と自動化を促進する革新的なソリューションを提供します。GMO AIR は、国内外のロボットの提供にとどまらず、GMO インターネットグループの強みであるインターネットインフラサービスや、金融事業を活用したレンタルやリース、AI コンサルティングをあわせてご提供することで、人口減少などの社会課題を解決し、安全で持続可能な未来の実現を目指します。

・お問い合わせはこちら：<https://ai-robotics.gmo/contact/>

<本サービスに関する問い合わせ先>

・ドローン・ジャパン株式会社 春原久徳 (info@drone-j.com)

本サービスの詳細・お申し込みはコチラから



https://www.drone-j.com/indoor_ap/